東ソーグループのあゆみ

当社グループは設立以来、化学を基盤として技術を深め、時代に求められるさまざまな製品の提供を通して産業界の発展に寄与し、人々の豊かな暮らしに貢献してきました。
今後も「地球とヒトの快適な暮らしのパートナー」として、化学の革新を通じて新たな挑戦と価値創出に取り組んでいきます。

●鐵興社　●新大協和石油化学　●日本ポリウレタン工業　生産開始

2025年度売上高 1兆199億円

チェーン事業　オレフィン　ポリマー　化学品　ウレタン　セメント　有機化成品

- 1936 アンモニア法ソーダ（ソーダ灰、苛性ソーダ）
- 1942 臭素
- 1949 塩ビ樹脂
- 1953 セメント
- 1966 MDI
- 塩ビモノマー
- 低密度ポリエチレン
- 1967 エチレンアミン
- 1971 クロロプレンゴム
- 1972 エチレン、プロピレン、BTX
- 高密度ポリエチレン
- 1973 塩ビ樹脂
- 1976 石油樹脂
- 1980 有機中間体
- 1981 ペースト塩ビ
- 1986 PPS樹脂
- 1999 ビニル・チェーン 100万トン/年体制構築
- 2004 一酸化炭素
- 2005 アニリン
- ビニル・イソシアネート・チェーン構築

先端事業　バイオサイエンス　高機能材料　水処理エンジニアリング

- 1936 石英ガラス
- 1938 電解二酸化マンガン
- 1956 ターゲット
- 1971 分析機器分野に進出
- 1979 工業用分離精製剤
- 1983 診断機器分野に進出
- ジルコニア粉末
- 1986 ハイシリカゼオライト
- 2001 オルガノを連結子会社化（水処理エンジニアリング）
- 2004 遺伝子検査分野に進出
- 2009 ジルコニア粉末（四日市）
- ハイシリカゼオライト（四日市）

グローバル展開

- 1964 米国
- 1973 ギリシャ（電解二酸化マンガン）
- 1975 インドネシア（塩ビ樹脂）
- 1976 オランダ（エチレンアミン）
- 米国（石英）
- 1988 米国（ターゲット）
- 1994 フィリピン（塩ビ樹脂）
- 1997 韓国（ターゲット）
- 1999 台湾（石英ガラス）
- 2004 中国（塩ビ樹脂）
- 2015 マレーシア（ハイシリカゼオライト）
- インド（臨床検査機器・試薬）
- 2019 韓国（石英ガラス）
- 2020 韓国（シリカ）
- 2024 ベトナム（MDIスプリッター）

鐵興社と合併（1975）　新大協和石油化学と合併（1990）　日本ポリウレタン工業と合併（2014）

1935　1940　1950　1960　1970　1980　1990　2000　2010　2020　（年）

1935年～ 創業

近代的一大理想工場を目指して

ソーダ工業における「近代的一大理想工場」を目指し「東洋曹達工業」として設立。無機化学を中心に発展し、繊維産業を中心とした経済・産業の成長を支えました。

1960年～ 育成

石油化学事業への進出と国際化

高度経済成長期において既存の無機化学の拡充を図るとともに、石油化学工業に参入。海外への進出を開始し、経済の成長とともに人々の生活の質向上に貢献しました。

1995年～ 拡大

構造改革を推進し事業拡大へ

構造改革を推進、事業の選択と集中を図り、塩ビと苛性ソーダのビニル・チェーン構想を打ち出し、スペシャリティ事業強化とグローバル展開を加速させていきました。

2014年～ 変革

ハイブリッドカンパニーのさらなる深化へ

2014年に「日本ポリウレタン工業」と合併。コモディティ事業とスペシャリティ事業をバランス良く強化し「ハイブリッドカンパニー」としてさらなる深化を目指しました。

2022年～ 挑戦

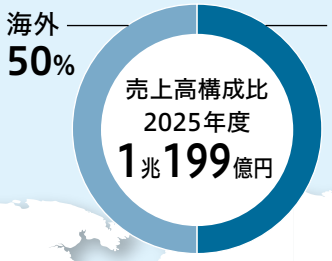
「成長」と「脱炭素」の両立へ

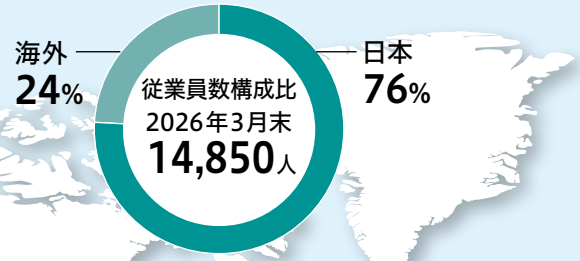
2030年度にチェーン事業と先端事業で営業利益1,700億円を目標に掲げるとともに、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて挑戦していきます。

At a glance

当社グループは、グローバルに生産・販売・研究開発拠点を有し、
幅広いニーズに対応するネットワークを構築して、事業を展開しています。

● チェーン事業 ● 先端事業 ● 商社など





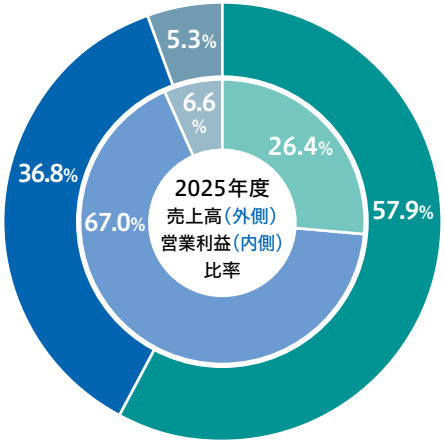
2025年度

売上高	営業利益	グループ会社	研究開発費	特許出願件数
1兆199億円	955億円	104社	230億円	406件

事業概要

基礎素材から先端領域まで、多彩に広がる当社の事業

当社の事業は、塩の電気分解やナフサの熱分解を起点に、原料や副生物を効率的に活用し、社会生活に不可欠な素材を供給する「チェーン事業」と、医薬・半導体・水処理などの成長分野で製品・技術を提供する「先端事業」で構成しています。



チェーン事業 | 先端事業 | その他事業

2025年度 売上高 10,199億円

2025年度 営業利益 955億円

チェーン事業

オレフィン事業 | ポリマー事業 | 化学品事業

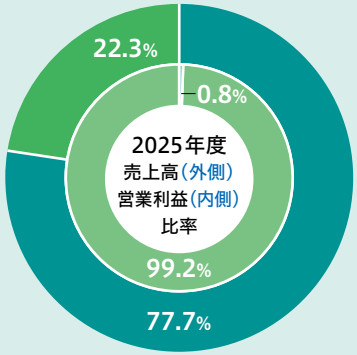
ウレタン事業 | セメント事業 | 有機化成品事業

社会基盤を形づくる化学製品で底堅い需要と収益力を生む

川上に位置する「基礎素材」と、基礎素材にユニークな機能を付加した「付加価値素材」からなるチェーン事業。社会インフラを下支えする製品から、自動車・医療・食品・半導体などの分野で不可欠な製品まで、多岐にわたる製品提供によって、人々の暮らしを支えています。

2025年度 売上高 5,906億円

2025年度 営業利益 252億円



基礎素材

付加価値素材

先端事業

バイオサイエンス事業 | 高機能材料事業

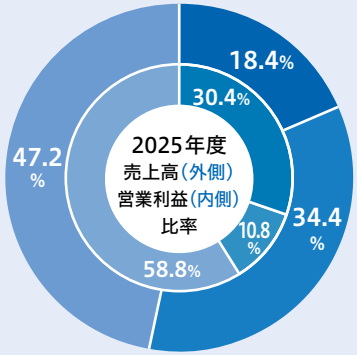
水処理エンジニアリング事業

高い成長性と収益力を強みとした先端的な技術・製品群

先端的な技術や製品で、成長市場のヘルスケア分野・半導体業界において強固なポジションを保持している先端事業。チェーン事業のインフラ・原料を利用できることも当社の強みとし、特長的な機能を有する製品・サービスで、人々の健康、豊かな社会の実現、地球環境の保護に貢献しています。

2025年度 売上高 3,749億円

2025年度 営業利益 640億円



バイオサイエンス事業

高機能材料事業

水処理エンジニアリング事業